

令和7年度 事業報告

【本部】

一般社団法人三次観光推進機構

【事業計画】

当機構は、第2次三次市観光戦略(R6～10)に定められた三次市がめざす観光の将来像「住んでよし、訪れてよし、受け入れてよし、持続可能なみよしの観光」の実現に向けて、市、当機構、観光事業者が連携し協力した観光地域づくりを推進します。

特に、三次市外からの観光客(入込客)を増やし、三次市内での滞在時間を延伸し、宿泊機会の増大を推進することで、お客様一人当たりの観光消費額を拡大し、三次市内全体に観光消費が循環する仕組みづくりをめざします。それにより、地域経済の活性化に結び付く「稼ぐ力」向上と「観光まちづくり」に向けて取り組みます。

第2次三次市観光戦略「三次市がめざす観光の将来像」を実現するための考え方（要約）

① 地域資源を最大限に有効活用した「稼ぐ力」の向上

◇ 世代を超えた多様な市民や異業種との協働と連携により、三次市の観光地としての価値を高め、旅行ニーズの変化に対応し得る付加価値の高い観光プロダクトの開発・運用を行います。

② 質の重視による持続可能な観光の造成

◇ 地域全体に稼いだ利益が循環できるような持続可能な観光地域づくりをめざします。

③ 多種多様な人々とのつながりによる観光推進体制の確立

◇ 観光業だけではなく、多くの関係者と協力・連携し、一丸となって観光振興を推進します。

◇ インバウンド誘客を含めた観光客の需要を把握し、データに基づく事業計画の策定、実施した事業の検証・見直しサイクルの適切な運用を重視します。

第2次三次市観光戦略「実現のための主な施策と取組の方向性」（要約）

【施策①】 地域資源を活かした新たな観光の魅力創出

・三次市の有する地域資源の発掘や掛け合わせなどで、既存観光プロダクトの磨き上げや開発を推進。

【施策②】 周遊・滞在を促すコンテンツ等の造成

・周遊促進による滞在時間の延伸や宿泊数を伸ばすことで、宿泊者数の増加を促進。

【施策③】 DXを活用した観光体制の強化

・旅行スタイルや旅行ニーズの変化への対応、人材不足対策と受入体制整備、観光産業収益を向上。

【施策④】 戦略的な情報収集と情報発信

・電子媒体の積極的な活用により、三次市来訪のきっかけづくりや再来訪機会の向上を促進。

【施策⑤】 市内外の関係者との連携による観光ネットワークの構築

・観光関係事業者のみならず多種多様な関係者や周辺の自治体と連携し、観光サービスの質の向上やエリアでの一体感のあるPRを推進。

第2次三次市観光戦略目標(R6～R10)と実績

【目標】

当機構は、令和7年度も引き続き、三次市の第2次観光戦略目標に沿って、その目標である総観光消費額(KGI)の達成に向けて取り組みます。その達成に大きな影響を及ぼす重要な KPI として、①三次市外からのお客様の増大(入込率のアップ)、②滞在時間の延伸、そして③宿泊者数(訪日外国人宿泊者数を含む)の増大を推進します。

それに加えて、観光庁の登録 DMO の必須 KPI として設定されている下表「5 来訪者満足度」及び「6 リピート訪問率」も併せて、最終目標である R10 までの年次 KPI を下表の通り設定します。

また、観光消費(経済)の成長には、地域内での市民・事業者などとの協力関係構築や満足度向上が欠かせません。観光まちづくりの観点からも、令和7年度に三次市民を対象としたアンケート調査を実施し、その結果を基に令和8年度に、「市民目線の視点」を加えた KPI 設定をめざします。

【年度別目標と実績(KGI/KPI)】

No.	KPI (目標)	単位	第1次三次市観光戦略(期間)			第2次三次市観光戦略(期間)					三次市 総合計画
			2021年 (R3)	2022年 (R4)	2023年 (R5)	2024年 (R6)	2025年 (R7)	2026年 (R8)	2027年 (R9)	2028年 (R10)	2033年 (R15)
1	総観光消費額(KGI) (利用データ: 広島県観光加数の動向)	百万円	4,500	5,000	6,540	6,200	7,400	7,500	7,600	7,700	10,000
	(実績)赤字=見込み		5,262	6,277	7,076	7,535	8,684				
2-1	延べ宿泊者数(KPI) (利用データ: 広島県観光客数の動向)	千人	140	150	180	160	172	175	178	180	200
	(実績)赤字=見込み		139	155	171	170	178				
2-2	(うち訪日外国人宿泊者数)(KPI)	人	-	-	-	1,500	2,000	3,000	4,000	5,000	10,000
	(実績)赤字=見込み		208	407	1,379	895	1,912				
3	入込率(KPI)=(C) (市外からの観光客数/総観光客数)	千人	-	-	-	71%	72%	73%	74%	75%	80%
	(実績)赤字=見込み		63.9%	65.5%	71.2%	65.4	66.3%				
	総観光客数 (A)		1,873	1,997	2,146	2,092	2,224				
	(実績)赤字=見込み		1,197	1,309	1,529	1,390	1,475				
4	入込客数(三次市外からの来訪者数)(B)	%	63.9%	65.5%	71.2%	66.4%	66.3%				
	入込率 (B)/(A) = (C)		-	-	-	5,000	10,000	15,000	20,000	30,000	80,000
	インバウンド来訪者数(目標)		303	837	2,755	2191	4,216				
	(実績)赤字=見込み										
5	来訪者満足度(KPI)/対象者=入込客 (利用データ: 当機構ネット調査)	%	62%	65%	67%	63%	64%	65%	66%	67%	
	(実績)		59%	62%	62.9%	62.4%	61.3%				
6	リピート訪問率(KPI)/対象者=入込客 (利用データ: 当機構ネット調査)	%	75%	75%	75%	90%	90%	91%	92%	92%	
	(実績)		87%	90%	91.3%	88.4%	88.6%				

◎ 第2次三次市観光戦略目標数値は、R7年度に設定されています。(R6～R9年度は、みよしDMOの年度別目標数値です。)

◎ 来訪者満足度、及びリピート訪問率は、入込客を対象としています。

$$\text{入込率 (\%)} = \frac{\text{三次市外からの来訪者数}}{\text{総観光客数}}$$

(* 市民の視点 ※アンケート設問例)

- ・三次市に観光客が来訪してほしいと思う
- ・三次市に観光客が多く訪れにぎわっていると思う。
- ・三次市は世界に誇れるような魅力がある街だと思う。

* 市民: まち・ゆめ基本条例という市民

令和7年度事業以降において付加する「まちづくり」の考え方

当機構は引き続き三次市の観光消費額増大をめざす取組に注力していきます。他方で観光消費額増大のみならず、当機構は「まちづくり」の機能も有し、地域経営(デスティネーション・マネジメント)を行う必要があります。また、国内外で実績のある DMO や地域では、「主要顧客(受益者)は、外からの観光客ではなく地域住民である」と位置付けているところも多数あります。昨今、観光をめぐる地域間競争は激しさを増しており、特に有名観光地を有していない地域では、「(観光)まちづくり」による魅力を共創することが必要です。

また狭義の観光旅行だけではなく、目的を問わず地域を訪れる人が対象となり得る「ツーリズム」への取組は、従来の観光事業関係者のみならず広範囲にわたる協力関係構築、受益提供の機会となります。

○観 光 旅 行:純然たる観光目的に限られた旅行

○ツーリズム:スポーツ, ビジネス, 帰省も含め用途を限らないすべての旅行

【ツーリズム推進による効果と当機構の連携先】

項目	期待される効果	三次市担当部署
基礎的な観光の推進	観光施策の更なる深化	商工観光課
三次町にぎわい創出プロジェクト 巴峡三次かわまちづくり計画	三次町内の周遊性の向上 河川観光資源の整備と周遊性の向上	都市建築課
スポーツ・ツーリズム推進 「スポーツのまち・みよし」 ブランディング	スポーツを通じた来訪者増大 女子野球など本市取組との相乗効果 本市の充実したスポーツ施設有効活用	スポーツ・コミッション 共生社会推進課
シティ・プロモーション	市の認知度アップ, 来訪者増大	秘書広報課
ふるさと納税活用	税収増による経済効果, 鶏飼の活用	秘書広報課 (ふるさと納税担当)
三次市特産品強化	市外も含めた稼ぐ力増大, 認知度向上	農政課
文化芸術・教育	文化芸術に興味関心のある来訪者増大 未来を担う世代への教育充実化	教育委員会 教育・文化施設

いずれの項目においても幅広い関係者・市民とより一層のコミュニケーションを図ることで、協力関係構築に取り組みます。このことは住民満足度、シビックプライド醸成にもつながります。

R7 総観光消費額 74 億円(R10 77 億円)達成に向けた考え方と実績

【考え方】

総観光消費額の向上には、来訪者数の増大、客単価の向上、リピート来訪回数の増大が必要です。

1. 来訪者数増大の取組

ツーリズム推進により、観光目的だけではなく多様な来訪ニーズを満たすための取組を行います。
また人流データ(おでかけウォッチャー測定)などを基に将来の需要予測を立て、効果的なマーケティング活動を行います。

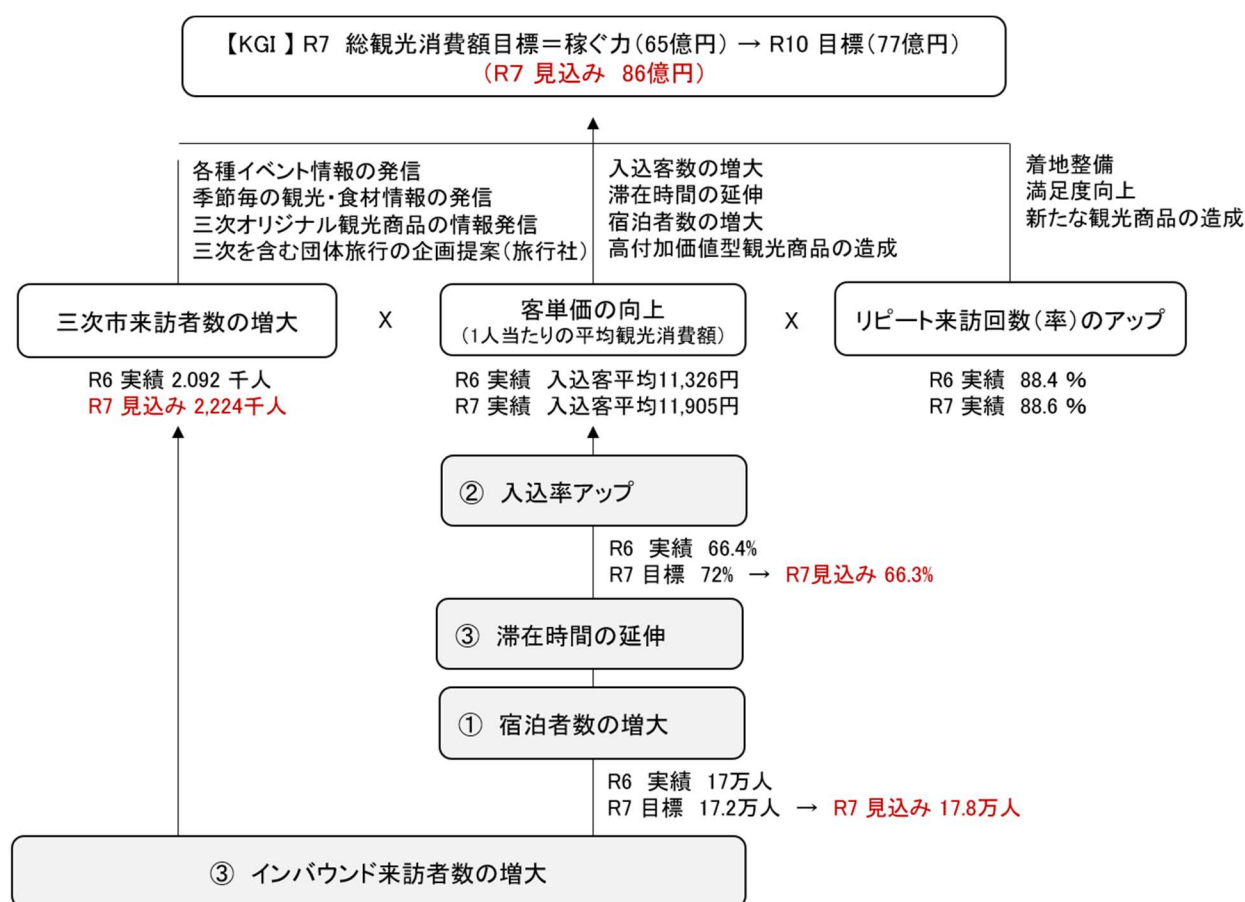
2. 客単価向上の取組

予期せぬ感染症や災害などによる来訪者数の増減に左右されにくいのが、客単価です。

客単価の向上には、次の要素が必要です。

- ①三次市外から来訪する観光客(入込客数)の増大
- ②三次市に来訪する観光客がより長く滞在するような三次特有の観光コンテンツや高付加価値型の観光商品の提供などによる滞在時間の延伸
- ③最終的には、一人でも多くの宿泊客を獲得できるよう宿泊プランの提供や宿泊推進プロモーション等による宿泊機会の提供

【実績】



R6 実績 2,191 人 (内宿泊者895人)

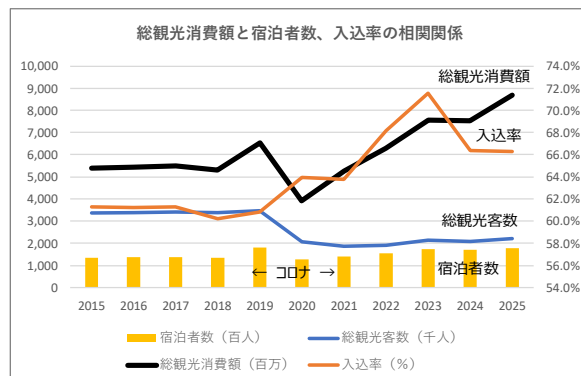
R7 目標 10,000人 (内宿泊者2,000人) → R7 見込み 4,216人(内宿泊者1,912人)

【参考資料】

観光客の 카테고리別 平均観光消費額の推移と実績

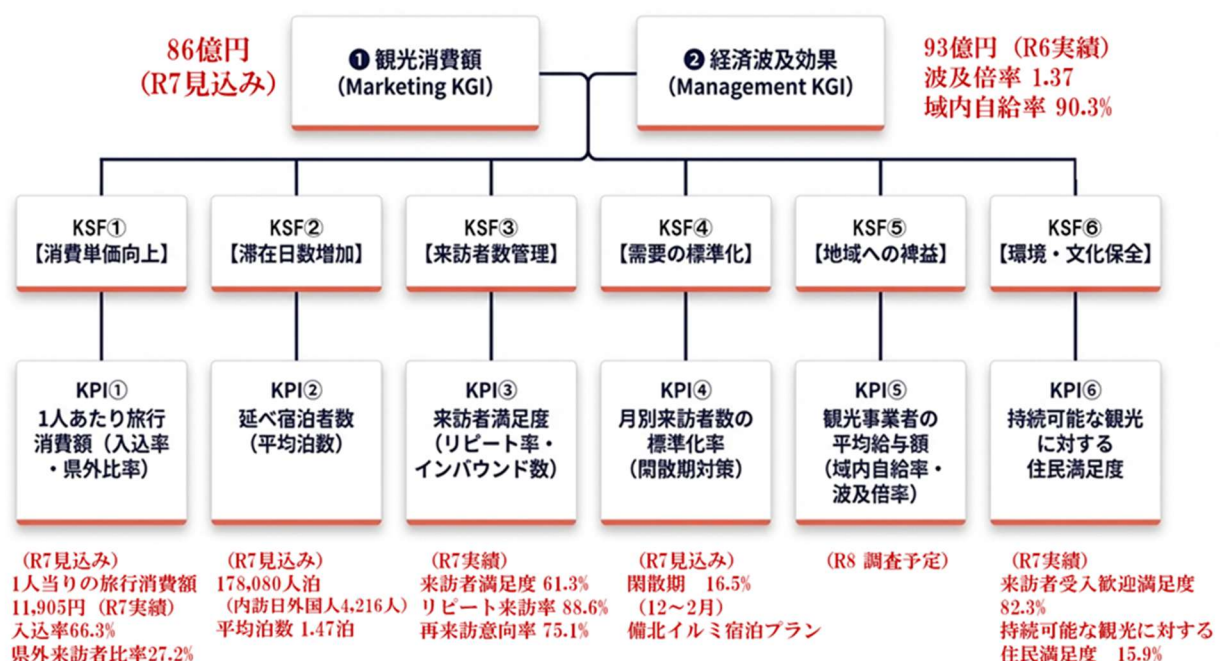
カテゴリー別 1旅行/1人当たりの平均観光消費額の推移	R2 (n=1,335)	R3 (n=1,345)	R4 (n=1,852)	R5 (n=1,806)	R6 (n=1,800)	R7 (n=1,801)
日帰り客	¥4,010	¥4,212	¥6,021	¥6,352	¥6,581	¥7,509
宿泊客	¥21,315	¥20,185	¥28,212	¥26,065	¥29,540	¥27,027
仕事目的	¥6,167	¥8,190	¥8,582	¥8,396	¥7,820	¥11,740
観光目的	¥8,360	¥7,399	¥11,159	¥10,742	¥12,388	¥12,626
三次市民	-	¥3,310	¥4,067	¥4,538	¥3,839	¥6,574
広島県内（三次市以外）	¥5,048	¥5,508	¥8,337	¥8,492	¥7,910	¥9,411
中国地方（広島県以外）	¥12,229	¥11,266	¥13,826	¥13,394	¥14,250	¥14,852
日本国内（中国地方以外）	-	¥25,241	¥34,478	¥28,808	¥38,610	¥30,202
入込客平均（三次市民以外）	¥6,880	¥7,505	¥10,708	¥10,160	¥11,326	¥11,905
かなり満足客	¥19,893	¥9,939	¥15,988	¥14,044	¥16,121	¥16,590
かなり不満足客	¥8,086	¥3,855	¥6,151	¥9,513	¥7,848	¥6,326

【参考】 入込率がアップし、宿泊者数が増えれば、総観光消費額は向上する傾向がある。



広島県内市町の入込率	R4	R5	R6	R7
宮島	95%	95%	95%	
安芸太田市	94%	94%	93%	
広島市	88%	93%	93%	
呉市	85%	83%	83%	
世羅町	84%	83%	83%	
庄原市	78%	77%	77%	
尾道市	77%	76%	76%	
竹原市	75%	84%	83%	
福山市	74%	85%	87%	
三次市	68.0%	71.0%	66.4%	66.3%
安芸高田市	61%	61%	61%	
東広島市	38%	54%	54%	
広島県全体平均	77%	80%	80%	

持続可能な観光地域づくりのKGI/KPIツリー



KGI (重要目標達成指標) (単位: 千円)	第1次三次市観光戦略 総観光消費額目標 R5 (85.4億円)			第2次三次市観光戦略 総観光消費額目標 R10 (77億円)					三次市 総合計画
	2021年 (R3)	2022年 (R4)	2023年 (R5)	2024年 (R6)	2025年 (R7)	2026年 (R8)	2027年 (R9)	2028年 (R10)	2033年 (R15)
総観光消費額(目標)	4,500,000	5,000,000	6,540,000	6,200,000	7,400,000	7,500,000	7,600,000	7,700,000	10,000,000
① 総観光消費額(実績) 赤字(見込)	5,262,300	6,277,827	7,076,133	7,535,689	8,684,040				
② 経済波及効果	—	—	—	9,305,449					
ー 経済波及効果倍率(参考)				1.37					
ー 域内自給率(参考)				90.3%					
ー 市内総生産(百万円)		191,625							
ー 観光の市内総生産(百万円)				5,399					
ー 観光の市内総生産の割合(%)				2.82%					

KPI (重要業績評価指標)	第1次三次市観光戦略(期間)			第2次三次市観光戦略(期間)					三次市 総合計画
① 1人あたり旅行消費額 (カテゴリー別)(単位: 円)	2021年 (R3)	2022年 (R4)	2023年 (R5)	2024年 (R6)	2025年 (R7)	2026年 (R8)	2027年 (R9)	2028年 (R10)	2033年 (R15)
旅行消費額(入込客平均)	¥7,505	¥10,708	¥10,160	¥11,326	¥11,905				
総観光客数(単位: 人) 赤字(見込)	1,875,422	1,920,528	2,146,420	2,092,178	2,224,817				
(内訪日外国人) 赤字(見込)	303	837	2,755	2,191	4,216				
入込率(統計ベース 目標)	65%	68%	70%	71.0%	72%				
入込率(統計ベース 実績) 赤字(見込)	63.8%	68.1%	71.2%	66.4%	66.3%				
県外来訪者比率(目標)						28%	29%	30%	35%
県外来訪者比率(実績) 赤字(見込)	16.9%	21.0%	24.4%	24.7%	27.2%				

※入込率(統計): 三次市の観光統計に基づき、総観光客数のうち三次市外からの来訪者の割合を示す指標である。広島県内・県外を区別せず、「三次市外からの来訪者」を対象として算出している。

※県外来訪者比率(おでかけウォッチャー推計): スマートフォンの位置情報データを用いた「おでかけウォッチャー」の発地分析に基づき、来訪者のうち広島県外からの来訪者の割合を示す指標である。

出典: 九州経済調査協会・ブログウォッチャー「おでかけウォッチャー」

② 延べ宿泊者数	2021年 (R3)	2022年 (R4)	2023年 (R5)	2024年 (R6)	2025年 (R7)	2026年 (R8)	2027年 (R9)	2028年 (R10)	2033年 (R15)
目標	140	150	180	160	172	175	178	180	200
実績(単位: 千人) 赤字(見込)	139	155	171	170	178				
(内訪日外国人)(単位: 人) 赤字(見込)	208	407	1,379	895	1,912				
平均泊数(ネット調査)	1.53	1.64	1.48	1.43	1.47				

③ 来訪者満足度 (n=1,800)	2021年 (R3)	2022年 (R4)	2023年 (R5)	2024年 (R6)	2025年 (R7)	2026年 (R8)	2027年 (R9)	2028年 (R10)	2033年 (R15)
来訪者満足度(目標)	62%	65%	67%	63%	64%	65%	66%	67%	70%
来訪者満足度(入込客)実績	59%	62%	62.9%	62.4%	61.3%				
リピート来訪率(目標)	75%	75%	75%	90%	90%				
リピート来訪率(実績)	87%	90%	91.3%	88.4%	88.6%				
再来訪意向率(目標)	75%	76%	77%	78%	79%	80%	80%	80%	80%
再来訪意向率(実績)	74.9%	79.3%	77.4%	78.6%	75.1%				

④ 月別来訪者数の平準化率 (単位: 千人)	2021年 (R3)	2022年 (R4)	2023年 (R5)	2024年 (R6)	2025年 (R7)	2026年 (R8)	2027年 (R9)	2028年 (R10)	2033年 (R15)
(閑散期3か月間 来訪者数) 赤字(見込)	377	272	342	339	377				
閑散期の平準化率 赤字(見込)	20.1%	14.2%	15.9%	16.2%	16.5%				

⑤ 観光事業者の平均給与額	2021年 (R3)	2022年 (R4)	2023年 (R5)	2024年 (R6)	2025年 (R7)	2026年 (R8)	2027年 (R9)	2028年 (R10)	2033年 (R15)
観光事業者の平均給与額					R8冬調査予定				
観光事業者の満足率					R9冬調査予定				
域内自給率				90.3%					
経済波及効果倍率				1.37					

⑥ 住民満足度 (n=458)	2021年 (R3)	2022年 (R4)	2023年 (R5)	2024年 (R6)	2025年 (R7)	2026年 (R8)	2027年 (R9)	2028年 (R10)	2033年 (R15)
来訪受入歓迎満足度	—	—	—	—	82.3%				
持続可能な観光に対する住民満足度	—	—	—	—	15.9%				
GSTC研修受講者数(人)	—	—	—	—	2				

⑧ 職員の満足度 (n=25)	2021年 (R3)	2022年 (R4)	2023年 (R5)	2024年 (R6)	2025年 (R7)	2026年 (R8)	2027年 (R9)	2028年 (R10)	2033年 (R15)
職員の満足度	—	—	—		64.0%				

⑨ 安定財源率	2021年 (R3)	2022年 (R4)	2023年 (R5)	2024年 (R6)	2025年 (R7)	2026年 (R8)	2027年 (R9)	2028年 (R10)	2033年 (R15)
安定財源率	49.0%	57.4%	56.3%	55.1%	54.7%				

⑩ 安定財源率(単位: 円)	2021年 (R3)	2022年 (R4)	2023年 (R5)	2024年 (R6)	2025年 (R7)	2026年 (R8)	2027年 (R9)	2028年 (R10)	2033年 (R15)
決算書(総収入) (A)	178,830,917	206,385,616	218,085,006	218,157,315	217,475,124	201,541,000	201,541,000		
安定財源収入 (B)									
・宿泊税(特定財源ー地方税の配布)	0	0	0	0	0	0			
・委託料収入 本部(市)	13,670,000	38,366,084	27,233,863	22,675,279	14,958,000				
・委託料収入 本部(実行委員会・その他団体等)	912,876	1,702,349	2,177,999	1,427,793	2,311,993				
・指定管理料収入	39,090,911	45,000,000	45,000,000	46,000,000	46,000,000				
・協賛金・協力金	0	140,846	282,684	267,290	389,440				
・売上高(観光売店、自主事業等)	15,560,580	4,379,074	15,652,904	7,931,910	8,739,850				
・施設利用料収入(本部)	0	420,000	385,000	420,000	420,000				
・施設利用料収入(指定管理)	1,973,378	2,124,170	1,899,196	114,700	902,890				
・負担金収入(本部)	100,000	650,000	100,000	100,000	100,000				
・負担金収入(指定管理)	513,554	775,123	553,313	66,961	725,893				
・手数料収入	105,022	579,809	12,007	0	9,931				
・会費収入(賛助会費)	0	1,480,000	1,500,000	1,430,000	1,100,000				
・広告料収入	0	390,000	375,000	443,900	492,800				
・博物館入館料収入(本部)	10,945,091	15,683,320	17,454,597	21,737,642	27,200,748				
・指定管理施設 売店売上	4,611,125	5,909,567	8,943,988	16,984,240	14,811,321				
・その他(利息、配当金、雑収入)	197,596	767,626	1,258,455	705,991	737,237				
安定財源収入(計) (B)	87,680,133	116,367,968	122,829,006	120,305,706	118,900,203	0	0	0	0
(B)÷(A)=%	49.0	57.4	56.3	55.1	54.7	0.0	0.0	#DIV/0!	#DIV/0!

令和7年度のみよし DMO 運営の組織体制と方針

令和7年度も、引き続き、本部に総務、着地整備・観光鶏飼、マーケティング・プロモーション、観光資源開発の部門別組織を継続するとともに新たに「インバウンド推進」部門を設置します。さらに三次もののけミュージアムの指定管理部門(6年受託の2期目)を加えた組織運営をします。また、「自主事業」は、着地整備部門を中心に展開し、市からの受託事業に関しては、案件により部門横断的に対応します。

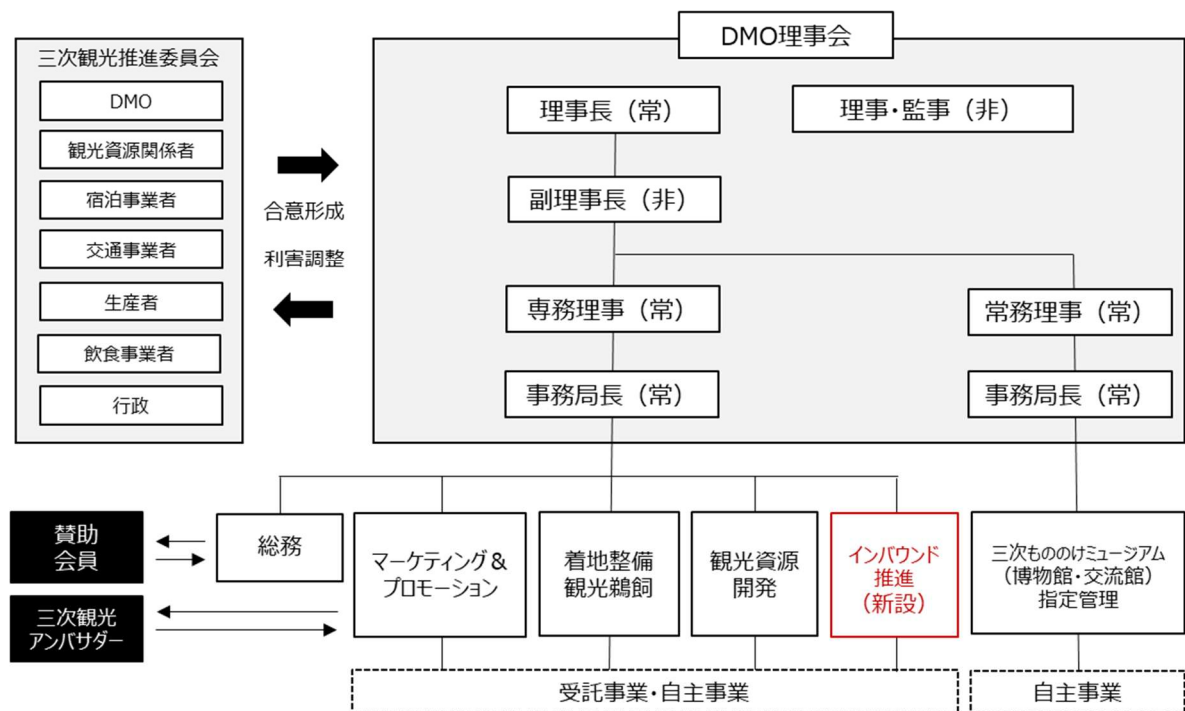
また、昨今の複雑化する経営上の課題、観光施策の効果向上へのアプローチには、より一層の部門横断的な取組・解決手法導入が必要です。解決すべき課題設定に対し、関連する部門から知見を有する人員を抽出しチームを組んで解決に取り組む「プロジェクトチーム制」を導入します。

【プロジェクトチーム制導入の意図】

- ① 解決すべき課題の明確化
- ② 問題解決プロセスの確立
- ③ 部署間の連携強化, 組織力の向上

また、観光関係者だけではなく、三次市内全体に「稼ぐ力」が循環できるよう賛助会員組織と共創します。さらに、多様な関係者との合意形成の場として「三次観光推進委員会」を継続設置(2期4年目)し、継続的に市内の観光推進ネットワーク体制の強化を図り、「稼ぐ力」の向上に向けて取り組みます。

【令和 7 年度 みよし DMO の組織体制】



◎解決すべき課題に付いて、部門横断的に取り組む「プロジェクトチーム体制」を導入

【R7 三次観光推進委員会 委員名簿】

- ◎ 三次観光推進委員会を通じて三次市内全域で稼ぐ力の向上に資する共創化の仕組みを検討します。令和7年度は2期目の2年目となり、令和6年度に引き続き次の委員で開催しました。

令和6年度～7年度 一般社団法人三次観光推進機構「三次観光推進委員会」委員（敬称略）							
	① 観光資源関係者	② 宿泊事業者	③ 交通事業者	④ 生産者	⑤ 飲食事業者	⑥ 行政	⑦ DMO
委員名	平田観光農園 代表取締役 平田真一	長岡旅館 代表 長岡幸生	三次みどりタクシー 代表取締役 石田 光雄	JAひろしま 女性部 部長 石田佳都美	いこい食堂 オーナー 原田美香	三次市 商工観光課 課長	三次観光推進機構 専務理事 永江 博之 (議長)
	広島三次ワイナリー マネージャー 柘植洋子	三次のさんかく 女将 弓掛沙登美	広島電鉄 代表取締役 飯井康裕	なちゅbio 取締役 岡田アントニールイス		(R6) 押谷水砂 (R7) 藤川あゆみ	

【各部門別事業報告】

※ 第2次三次市観光戦略の主な施策①～⑤との関連業務を【 】に施策番号で記載。

◎全体（本部、指定管理部門合計）

- 予算額：201,541 千円
- 収入済額：217,404 千円，支出済額：212,020 千円（※当期純利益 5,385 千円）

1. 総務部門

- 予算額：67,078 千円
- 収入済額：62,067 千円，支出済額：65,974 千円（※収支差額：▲3,907 千円）

【諸会議】

A. 社員総会

(1) 定時社員総会

開催日 令和7年6月25日(水)

会場 三次市役所本館3階会議室

議事

① 報告事項

- ・ 第1号報告 令和6年度事業報告について
- ・ 第2号報告 令和7年度事業計画の策定について
- ・ 第3号報告 令和7年度収支予算の編成について
- ・ 第4号報告 事務局長(指定管理部門)の選任について

② 付議案件

- ・ 第1号議案 理事及び監事の選任(案)について
- ・ 第2号議案 令和6年度決算報告(案)について

B. 理事会

(1) 第1回理事会

開催日 令和7年6月6日(金)

会場 三次もののけミュージアム交流館

議事

① 報告事項

- ・ 第 1 号報告 令和 6 年度理事長等の職務の執行状況報告(下半期)について

② 理事会付議案件

- ・ 第 1 号議案 令和 6 年度事業報告(案)について
- ・ 第 2 号議案 令和 6 年度決算報告(案)について
- ・ 第 3 号議案 令和 7 年度事業計画の一部変更(案)について
- ・ 第 4 号議案 令和 7 年度定時社員総会の開催(案)について

③ 定時総会付議案件

- ・ 第 1 号議案 理事及び監事の選任議案の定時総会への提出について
- ・ 第 2 号議案 令和 6 年度事業報告の定時総会への提出について
- ・ 第 3 号議案 令和 6 年度決算報告(案)の定時総会への提出について

(2) 第 1 回臨時理事会

開催日 令和 7 年 6 月 25 日(水)

会場 三次市役所本館 3 階会議室

議事

① 付議案件

- ・ 第 1 号議案 理事長の選任について
- ・ 第 2 号議案 副理事長の選任について
- ・ 第 3 号議案 専務理事の選任について
- ・ 第 4 号議案 常務理事の選任について

(3) 第 2 回理事会

開催日 令和 7 年 11 月 20 日(木)

会場 三次もののけミュージアム交流館

議事

① 報告事項

- ・ 第 1 号報告 令和 7 年度上半期事業報告について
- ・ 第 2 号報告 令和 7 年度上半期予算執行状況報告について
- ・ 第 3 号報告 令和 7 年度上半期理事長等の職務執行状況報告について

② その他

③ 意見交換

- ・ 市内各地での今後の観光推進に関する意見, 課題, 要望等について

(4) 第 3 回理事会

開催日 令和 8 年 3 月 27 日(金)

会場 三次もののけミュージアム交流館

議事

① 付議案件

- ・ 第 1 号議案 令和 8 年度事業計画(案)の策定について
- ・ 第 2 号議案 令和 8 年度収支予算(案)の編成について

② 報告事項

- ・ 第 1 号報告 令和 7 年度三次観光推進委員会の協議内容について

C. 監査

令和 7 年 5 月 27 日(火) 令和 6 年度会計監査

D. 三次観光推進委員会

(1) 第 1 回

開催日 令和 7 年 10 月 6 日

会場 三次もののけミュージアム交流館

協議事項

- ① 前回の委員会の意見交換を反映した宿泊施設と連携した新たなプロモーションの紹介と意見交換
- ② 滞在時間延伸のためのグルメスタンプラリーの紹介とその他の施策に関する意見交換
- ③ 三次の閑散期(12 月～2 月)対策に関する意見交換
- ④ 国際交流員(CIR)の紹介とインバウンド誘致促進のための活用に関する意見交換
- ⑤ 三次市内観光及び三次への二次交通の利便性向上に関する意見交換

(2) 第 2 回

開催日 令和 8 年 2 月 26 日

会場 三次もののけミュージアム交流館

協議事項

- ① 令和 7 年度みよし DMO 観光消費額向上プロモーションの中間報告
- ② 今後、各事業者間(観光施設、宿泊施設、飲食事業者、生産者、交通事業者)で連携して観光消費を促進できるアイデアに関する意見交換
- ③ 三次市内の持続可能な観光地域づくりに関する意見交換
- ④ 令和 8 年度以降の観光推進委員メンバーの推薦
- ⑤ 委員会議事録(要旨)の公開について

《施策》

- (1) 組織運営を円滑に実施するための仕組みづくりと管理
- (2) 総務業務の DX 化推進(電子決裁, 経費精算, 電子契約, 勤怠管理など)
- (3) みよし DMO コーポレートサイトの管理運営(法人情報公開, ニュースリリース, 採用情報)
- (4) みよし DMO 通信の継続発行
- (5) 社内研修とリスクリングの推進
- (6) もののけ小路の維持管理及びテナントとの連携

【実績】

- (1) 本部マネージャー会議を毎週開催するとともに、本部と指定管理部門との定例会議を毎月開催した。
- (2) 機構内に電子決裁・経費精算・勤怠管理システムを継続導入するとともに、Box による文書保存管理システムや電子契約を継続使用し、業務の効率化とペーパーレス化を推進した。
- (3) コーポレートサイトによる当機構の法人概要、公開情報、業務内容の紹介をするとともに職員の募集情報等を継続掲載した。
- (4) みよし DMO 通信 Vol.3 を発行(24,000 部)し、当機構に関する情報提供を行った。
- (5) 観光庁指定の「DMO 中核・実務人材のための観光地経営人材育成研修」(4 人)や DMO 体制整備事業による視察研修(兵庫県豊岡市 6 人)等に参加した。

また、せとうち DMO 主催 サステナブルツーリズム研修(岡山市 2 人, 香川県小豆島 1 人)に参加し、観光庁より令和 7 年 10 月 10 日 JSTC-D ロゴ使用の認証を取得。



(6) もののけ小路の天然芝が老朽化したため、人工芝への張替工事を実施し、観光客誘致の環境整備を行った。

2. 着地整備&観光案内部門

- 予算額: 19,189 千円
- 収入済額: 19,698 千円, 支出済額: 19,601 千円(※収支差額: 97 千円)

【着地整備】

- 予算額: 3,539 千円
- 収入済額: 3,657 千円, 支出済額: 3,400 千円(※収支差額: 257 千円)

《施策》

- (1) 三次市内観光案内所2拠点(三次駅前, 三次もののけミュージアム交流館)の着地整備
- (2) 繁忙期, 東酒屋地区(広島三次ワイナリー)での臨時観光案内所の開設・運営(目標: 年間 15 日)
- (3) A5 判三次観光案内コンパクト, マップ入り冊子(マップと Vol.1~3 統合版)の制作と印刷(英語版は, 既存三次市観光案内マップ冊子を改修)【施策④】
- (4) 各種観光情報冊子の増刷と広島県内配置場所の新規施設の開拓, 在庫管理の徹底強化【施策④】
 - ① 広島空港, 広島バスセンター, 本年は特に三次への流入の多いタッチポイントである道の駅(高野・三矢の里・世羅を強化)を三次への重要導線と位置づけ配架に注力。
 - ② 三次駅~三次町方面への歩き方マップ制作・配布(カウンター案内用)
- (5) 三次の歩き方ガイドの募集と整備(多言語ガイド育成と登録を含む)
- (6) R8 三次観光アンバサダーセレモニースタッフの募集(目標 3 名), 研修, 各種イベント企画営業(R7 募集セレモニースタッフが継続可の場合は, 継続を優先)

【実績】

- (1) 三次市内観光案内所 2 拠点(常設)の運営・来客状況
 - ・ 三次駅前(三次観光案内所 3,499 件, 4,588 人, うち外国人 146 人, 定休日を除く毎日開所)
 - ・ 三次町(三次もののけミュージアム交流館 161 件, 321 人, うち外国人 13 人, 定休日を除く毎日開所)
- (2) 臨時観光案内所(広島三次ワイナリー等)の開設・運営状況
 - ・ 200 件, 409 人の来客対応

観光案内所	問合せ	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総計
三次観光案内所	件数	312	273	338	494	454	277	214	312	178	107	188	352	3,499
	人数	323	310	494	846	619	354	285	234	117	196	310	500	4,588
	(内外国人)	33	25	10	6	5	10	8	18	2	4	12	13	146
三次もののけミュージアム交流館	件数	18	21	14	13	15	17	15	10	7	6	11	14	161
	人数	33	40	34	30	40	28	30	17	12	9	26	22	321
	(内外国人)	2	0	0	1	2	0	4	1	0	0	3	0	13
広島三次ワイナリー等 (臨時観光案内所)	件数	0	96	0	10	16	20	33	25	0	0	0	0	200
	人数	0	217	0	16	45	33	54	44	0	0	0	0	409

(3) 三次観光案内冊子の制作

- ・ 観光冊子コンパクト「きっと三次が好きになる」(A5 版) 7,000 部

(4) 各種観光情報冊子の増刷と県内配架場所の開拓, 在庫管理強化

- ・ 観光案内冊子 (Vol.1) 増刷 22,500 部
- ・ 観光案内冊子 (Vol.2・3) 増刷 800 部
- ・ 三次まち歩きアプリ両面ちらし 4,000 部
- ・ 三次町グルメスポットめぐり (A3 版) 15,000 部
- ・ 三次市街地両面十字折マップ (A2 版) 15,000 部
- ・ 三良坂・吉舎・甲奴エリア両面十字折マップ (A2 版) 10,000 部
- ・ 三次市全域マップ (A2 版) 10,000 部
- ・ 英語版 B4 三次町マップ 100 部
- ・ 新規配架場所: なし

(5) 三次の歩き方ガイドの募集と整備 (多言語ガイド育成と登録を含む)

- ・ 専門ガイド登録 (4 分野 5 人)
ネイチャーガイド 2 人, 三次町ガイド 1 人, いのうものけガイド 1 人, 中国人ガイド 1 人
- ・ 当機構 HP に専門別観光ガイド紹介とガイド依頼の申込フォーム作成。依頼者が直接各ガイドに申込する方法を継続採用。
- ・ 専門ガイドによる案内件数 3 件 (三次町ガイド)

(6) 令和 8 年度三次観光アンバサダーセレモニースタッフの募集と決定, 研修

- ・ 募集人員 3 名 (応募者数 5 名)
- ・ 決定者 2 名 (審査により 3 名決定したが, 決定後 1 名辞退)
- ・ 研修実施 2 回 (令和 8 年 3 月 8 日, 3 月 15 日)

《令和 7 年度セレモニースタッフ派遣依頼対応》

No.	派遣日	曜	派遣内容	派遣人員
1	4 月 29 日	火	三次観光アンバサダーセレモニースタッフ交代式	3
2	5 月 3 日	土	ひろしまフラワーフェスティバル パレード参加 (観光 PR)	3
3	5 月 29 日	木	ピオネット出演 (三次の観光 PR)	1
4	6 月 1 日	日	鵜飼川開き	1
5	6 月 26 日	木	日本妖怪博物館夏と秋の特別企画展開会式 (司会)	1
6	6 月 29 日	日	プロ野球ウエスタンリーグ公式戦	2
7	7 月 26 日	土	第 47 回きんさい祭り	2
8	8 月 2 日	土	マツダスタジアム三次デーセレモニー参加 (観光 PR)	3
9	8 月 23 日	土	楽天モバイルパーク (観光 PR)	1
10	9 月 22 日	月	交通安全キャンペーン (交通安全啓発グッズ配布)	1
11	11 月 20 日	木	日本妖怪博物館新春企画展開会式 (司会)	1
12	11 月 28 日	金	暴力追放街頭パレード	1
13	12 月 18 日	木	ピオネット出演 (令和 8 年度セレモニースタッフ募集告知)	1
14	2 月 7 日	土	スガシカオ全国弾き語りツアー (観光 PR)	1
15	3 月 7 日	土	ひろしまド真ん中祭り (観光 PR)	1
16	3 月 8 日	日	〃 (〃)	2
計				25

【観光鵜飼】

- 予算額: 15,650 千円
- 収入済額: 16,041 千円, 支出済額: 16,201 千円(※収支差額: ▲160 千円)

《施策》

- (1) 乗船者数 2,200 人以上 (R6 実績 1,910 人)
- (2) 三次の鵜飼 宿泊プラン利用者数 150 人泊以上 (R6 実績 128 人泊)
- (3) 事業収益(乗船料, 売店, 協力金, 広告料, 雑収) 7,500 千円以上 (R6 実績 7,068 千円)

【実績】

- (1) 乗船者数 2,352 人(R6:1,910 人 R6 比:442 人増)
- (2) 三次の鵜飼 宿泊プラン利用者泊数 71 組 173 人泊(R6:54 組 128 人泊 R6 比:17 組 45 人泊増)
- (3) 事業収益 8,541 千円(R6 :7,068 千円 R6 比:1,473 千円増)

《観光鵜飼事業推進上の対応策》

- (1) 継続した取組
 - ① 週4日間運行の継続(金・土・日・月)
 - ② 夕涼み遊覧(1 部)
 - ③ 早割り (2 週間以上前の予約 4,000 円→3,300 円)
 - ④ QR アンケート調査キャンペーン(但し, うちわで制作)
 - ⑤ お得意様への予約事前受付キャンペーン DM 等の送付
- (2) 新たな取組
 - ① 新規遊覧船船頭の増員募集と育成(船頭会の体制, お客様への解説)
 - ② 弁当メニューの多様化と高価格帯弁当の販売
 - ③ 6 月割の廃止とゆかた割の新設
 - ④ 各種イベント・コラボ船の企画
 - ⑤ 旅行代理店への「三次の鵜飼旅行プラン」企画提案と営業活動(特に 6~7 月遊覧船)や FAMトリップ(三次の鵜飼遊覧船の体験乗船への招待)の実施検討

【実績】

- (1) 継続した取り組み
 - ① 期間中 55 日間稼働(金曜日:66 隻 610 人, 土曜日:79 隻 747 人, 日曜日:62 隻 561 人, 月曜日 43 隻 379 人, 最終日:6 隻 55 人)。
※悪天候もしくは催行人数に満たず稼働できなかった期間 4 日間(12 隻, 121 人)
 - ② 鵜飼乗船客名簿を活用した DM や SNS での配信により, 優先予約受付を実施。
 - ③ 早割り件数:650 人(R6 実績:515 人)
 - ④ 運行方法改善のための QR アンケート実施。回答者数:乗船者 2,352 人中 286 人(回答率 12.2%)
 - ⑤ 昨年の乗船客へ案内。(メール 164 件, 郵送 208 件)
- (2) 新たな取り組み
 - ① 新規船頭 4 人採用, 新人船頭すべてが今年デビュー達成。
 - ② 弁当の種類(5,000 円 2 種)を追加し, 平均弁当購入価格が上昇, 計 896 人前受注。
・ 2,200 円(376 個), 3,500 円(383 個), 5,000 円(78 個), 船内料理 6,000 円(6 組, 59 人分)
 - ③ ゆかた割件数:12 人
 - ④ イベント・コラボ件数:1 件(もののけ夜宴船)
 - ⑤ 三次の鵜飼ツアー新規受注(旅行会社 3 社, 4 本, 97 人 内宿泊 27 人), その他直接予約団体 (15 名以上~)16 団体受注。団体ツアー参加者予約計 563 人。

3. マーケティング&プロモーション部門

○ 予算額 18,470 千円

○ 収入済額: 18,797 千円, 支出済額: 19,564 千円(※収支差額: ▲767 千円)

《施策》

(1) 観光消費額向上のための「入込率アップ」の施策

- ① 大阪・関西万博観光ポータルサイト「Expo 2025 Official Experiential Travel Guides」への三次観光プランの登録(日本語・英語)(目標:2 件, 100 人誘致)【施策④】
- ② JAF スタンプラリーの継続 (目標:三次市内 6 か所, 2500 スタンプ)【施策②】
 - ・ 広域周遊連携事業の造成 (目標:庄原市連携を含む 2 商品)【施策⑤】
 - ・ SNS プロモーション(分析と投稿数の増大推進)(目標投稿数 1,500 件/三次観光アンバサダーを含む)【施策④】
- ③ 広域連携事業 (他市町との広域周遊観光プロモーション)の検討【施策②】
- ④ SNS プロモーション (目標:投稿 1,500 件→フォロワー数増加率に変更)【施策④】
- ⑤ 大阪市内での三次来訪促進プロモーション(JR 御堂筋線車内吊革広告他検討)【施策②】
- ⑥ 広島空港から三次へのレンタカー利用促進プロモーション(インパウンドを含む)

【実績】

(1) 観光消費額向上のための「入込率アップ」の施策

① 「三次もののけミュージアム」に係る商品登録(入場券販売申請)

予約件数実績 1 件 3 人(目標 100 人)

②-1 JAF スタンプラリー2025 への参画

- ・ 参加施設数 6 施設, チャレンジ数 796 件, コース別参加者数 474 件, クリア数 160 件, 動員数 1,747 人(スタンプ数)
- ・ 賞品 A:ドライブスタンプラリー(三次ワインビーフ詰合せセット 5 人, 三次の特産品詰合せセット 7 人, きりこちゃんぬいぐるみ 10 人)
B:家たび(きりこちゃんぬいぐるみ 5 人)
- ・ JAF スタンプラリー投資収益率=403%

【参考】投資収益率の観光庁定義

$$\text{投資収益率} = \frac{\text{当プロモーションに参画した事業者の売上}}{\text{みよしDMOの活動支出}}$$

②-2 ジ・アウトレット広島 JAF イベントへの出展

- ・ 開催日:8 月 3 日(日)
- ・ きりこちゃんを出演させ, 本市認知度の向上を図った。
- ・ 県外からの来訪客比率 24.7%

③ 広域連携事業

- ・ 備北地区広域周遊団体ツアー造成支援制度

実績:日帰りツアー参加者 477 人, 宿泊ツアー参加者なし, ひろしま神楽・三次マルシェ開催日数 2 日間・参加者数 85 人, 助成先 5 社 7 件

④ SNS プロモーションの実施

【のべフォロワー数:2026 年 3 月 30 日時点】

- ・ X:きりこちゃん 6,436 人, 三次観光アンバサダー265 人, 三次の鵜飼 178 人
- ・ Facebook:三次市観光 3,207 人 三次観光アンバサダーセレモニースタッフ 805 人
- ・ Instagram:アカウント数 11,764 人(三次観光情報 @miyoshidmo)
" 2,518 人(三次おでかけナビ @miyoshi-event)

" 221 人(三次の鵜飼 @ukai344)
 " 343 人(三次観光アンバサダーCS(@miyoshi_ambassador)
 " 480 人(インバウンド Explore Miyoshi @explore.miyoshi_japan)

- ・ TikTok: アカウント数 230 人(インバウンド Explore Miyoshi @explore.miyoshi_japan)
- ・ 三次観光アンバサダー本登録のべ人数 437 人, 同 LINE 公式登録数 269 人
- ・ 総フォロワー数 27,153 (三次観光アンバサダー登録者, LINE 公式含む)
昨年比+8,018 と大幅に増大した。
- ・ SNS 分析ツールの導入: 1 年間
- ・ SNS を利用したキャンペーン: 1 回
(三次観光アンバサダー「三次の逸品」レビュー投稿キャンペーン)
- ・ SNS フォロワー獲得数(各媒体合計): 8,018 人
- ・ SNS 投稿に関する分析: 1 回

⑤ 大阪市内でのプロモーション
実施なし

⑥ 広島空港レンタカー連携事業

- ・ 期間: 令和 7 年 8 月 1 日～令和 8 年 3 月 31 日
- ・ 内容: 空港レンタカー各社に三次市内で利用できる紙クーポン(1,000 円)を配架。
- ・ 対象者: 日本人及び訪日外国人旅行者
- ・ 協賛店舗: 11 店舗
- ・ 配布枚数: 874 枚
- ・ 利用枚数: 161 枚(配布枚数の 18%)
- ・ 広島空港レンタカープロモーション 投資収益率=328%

(2) 観光消費額向上のための「滞在時間延伸」の施策【施策②】

- ① 三次ステイ割の導入 (目標: 三次市内宿泊施設 5 軒, 2,000 人利用)
 - ・ 宿泊者がチェックアウト時, 三次市内の各施設で特典や割引が受けられるサービスで, 「ついで寄り」を促進
- ② ドライブ割プロモーションの継続 (目標: 300 回利用)
 - ・ 三次来訪者の約 9 割を占めるマイカー来訪者への周遊促進
- ③ 三次市内グルメスタンプラリーの継続 (目標: 800 スタンプ)
- ④ 三次市内カフェめぐりスタンプラリーへの協賛

【実績】

(2) 滞在時間延伸の施策

- ① 三次ステイ割の導入
ステイ割は実施せず, 商品券付き宿泊キャンペーンとして実施
- ② 三次ドライブ割プロモーションの継続実施
 - ・ 三次ドライブ割事業の磨き上げ事業として実施
 - ・ 協賛施設数: 14 施設
 - ・ クーポン利用件数: 236 回(昨年比 79 回増)
 - ・ 三次まち歩きアプリ累計インストール数: 11,868 件
 - ・ 三次ドライブ割プロモーション 投資収益率=498%
- ③ 三次グルメスタンプラリーの継続実施
 - ・ 実施期間: 令和 7 年 10 月 10 日～令和 8 年 2 月 28 日
 - ・ 協賛店舗数: 51

- ・ 総応募口数:476 口(うち, アプリ 128 口)
 - ・ 応募件数:288 件(うち, アプリ 88 件)
 - ・ 実績:1,300 スタンプ
 - ・ 三次グルメスタンプラリー 投資収益率=433%
- ④ 三次市内カフェめぐりスタンプラリーへの協賛
なし

(3) 観光消費額向上のための「三次市内宿泊推進プロモーション」【施策②】【施策③】

- ① 宿泊施設に対する特典付き宿泊プランの造成依頼と特典の提供 (目標 5,000 人泊増)
- ② 多様な宿泊プランの造成(目標 2 種類)
 - ・ テーマ:備北イルミ, もののけ, グルメ, スポーツ, イベント, パーティー等多数で検討
- ③ 旅行会社向け三次周遊ルートプラン促進助成金制度(宿泊にインセンティブ付加)(目標 3 社, 500 人以上, 邦人, インバウンド問わず)
 - ・ (例) お客様一人当たり(日帰り 1 千円, 宿泊 2 千円, インバウンド 3 千円など検討)

【実績】

(3) 三次市内宿泊推進プロモーション

- ① 宿泊プランの造成
 - ・ 「商品券付き宿泊キャンペーン」として, 市内への誘客, 飲食・買物・タクシー券利用促進による観光消費増大を目的に実施。
 - ・ 実施期間:令和 7 年 10 月 1 日～令和 8 年 1 月 31 日
 - ・ 対象エリア:市内全域(R7 は君田地域を含む)
 - ・ 商品券配布率:83.1%(5,000 枚のうち 4,153 枚=人泊)
 - ・ 商品券利用率:67.2%(5,000 枚のうち 3,360 枚利用)
 - ・ 協力宿泊施設数:19 施設
 - ・ 協力店:51 店舗。(飲食施設 39 店舗, タクシー4 社, 観光施設売店 8 店舗)
(※令和 7 年度は飲食店に加え, タクシー及び観光施設売店を新たに追加)
 - ・ 商品券付き宿泊プラン利用促進プロモーション投資収益率=767%
- ② 多様な宿泊プランの造成
なし
- ③ 旅行会社向け三次周遊ルートプラン促進助成金制度
 - ・ 「三次市内団体ツアー造成支援制度」として実施
 - ・ 目的:団体ツアー増加による来客数増, 市内観光資源の活用と立ち寄り地での消費増大, 旅行会社との連携強化
 - ・ 対象期間:令和 7 年 5 月 16 日～令和 8 年 3 月 31 日までに催行する「日帰り」「宿泊」団体ツアー
 - ・ 助成金額:日帰りツアー1,000 円, 宿泊ツアー2,000 円(いずれもお客様 1 人あたり)
 - ・ 参加者:日帰りツアー1,029 人, 宿泊ツアー25 人
 - ・ 利用旅行会社:広交観光(株)5 件, (株)読売旅行社 4 件, その他 10 件, 延べ 19 件。
 - ・ 成果:九州・四国方面への営業活動にもつながり, 九州から 191 人, 四国から 161 人の誘客実績があった。
 - ・ 旅行会社向け三次周遊ルートプラン促進助成金 投資収益率=348%

(4) その他の施策【施策④】

- ① みよし DMO リニューアルサイトの運営分析
- ② SNS 講習会（年1回）
- ③ 三次観光アンバサダーの募集継続
- ④ クリエイティブ強化（インバウンド用写真撮影素材の活用含む）

【実績】

(4) その他の施策

- ① みよし DMO リニューアルサイトの運営分析
 - ・ 分析委託期間: 令和 7 年 3 月～8 月(6 か月間)
 - ・ 成果分析
 - アクティブユーザー数: 198,643 人(+38.6%)
 - 新規ユーザー数: 185,924 人(+38.6%)
 - リピーター数: 36,756 人(+31.5%)
 - ※新規流入の伸びが顕著で広告や SEO 流入が増加。
 - セッション数: 272,791(+41.6%)
 - ページビュー: 451,547(+21.8%)
 - ※サイト全体の訪問と閲覧数が増加
 - ユーザーあたりのセッション数: 1.34 回→1.37 回 ※やや改善
 - 平均エンゲージメント時間: 1 分 53 秒→2 分 08 秒へ延伸
 - エンゲージメント率: 62.66%→54.68%に低下
 - 直帰率: 37.43%→45.56%に増加
 - 人気ページの傾向: R7 は具体的な体験・消費喚起型コンテンツが人気
- ② SNS 講習会
 - ・ 実施日: 令和 7 年 12 月 5 日
 - ・ テーマ: 体感する SNS 動画の集客術(中級編)
 - ・ 参加者: 20 団体, 21 人
- ③ 三次観光アンバサダーの募集継続
 - ・ 常時募集。累計登録者数: 437 人(令和 8 年 3 月末現在)
 - ・ モニターツアー等の開催(三次観光アンバサダー特典)
 - 三次の鵜飼(お弁当付き) 参加者…10 名
 - 美術館チケット配布 当選者…6 名
 - 三次の逸品商品レビュー投稿 当選者…30 名
- ④ クリエイティブ強化
 - 特になし

(5) 各種調査（継続実施）

- ① 三次市来訪者調査(ネット調査) (n=毎月 150 サンプル×12 か月=1,800 件回収)
- ② 広島県観光客統計調査（三次市内 25 地点来訪客数の動向）
- ③ 無人観光スポットでのカメラ人流調査(市内 5 か所)
- ④ 市民アンケート調査(みよし DMO 通信を利用)

【実績】

(5) 各種調査(継続実施)

- ① 三次市来訪者調査(ネット調査)
 - ・ 調査期間: 令和 7 年 1 月～12 月

- ・ 調査方法:インターネット調査(毎月1回,計9回,サンプル数1,801件)

※システムおよび契約期間上1～4月は1回調査。

- ・ 調査対象者:三次市を訪れた18～79歳の男女

② 広島県観光客統計調査

- ・ 調査期間:令和7年1月～12月

- ・ 調査地点:主要25地点,その他

<以下,見込数値>

- ・ 総観光客数:2,224,817人(R6 2,092,178人,6.3%増)
- ・ 観光消費額:8,684,040千円(R6 7,535,689千円,15.2%増)
- ・ 一人当たり消費額:3,903円(R6 3,602円,8.4%増)
- ・ 外国人観光客数:4,216人(R6 2,191人,92.4%増)
- ・ 宿泊者数:178,080人(R6 170,244人,4.6%増)

③ 無人観光スポットでのカメラ人流調査

- ・ 調査箇所:5か所(高谷山,尾関山,三次もののけミュージアム,もののけ小路,広島三次ワイナリー)※三次もののけミュージアムと広島三次ワイナリーの人流カメラについて,不調や故障が多く,観光客数統計調査も直接聞き取り調査を行っていることから,三次市商工観光課と設置者のまちづくり交通課と協議し,撤去。

R7	高谷山	尾関山	三次もののけ ミュージアム	もののけ小路	広島三次ワイナリー
1月	2,915	2,790	データ未収集	896	データ未収集
2月	573	2,137	データ未収集	798	データ未収集
3月	1,821	5,046	データ未収集	1,248	データ未収集
4月	2,040	17,824	データ未収集	2,484	データ未収集
5月	1,936	3,823	データ未収集	3,206	データ未収集
6月	1,441	2,889	1,665	2,097	942
7月	1,690	4,369	2,130	3,189	2,408
8月	1,404	3,662	4,315	2,975	5,815
9月	2,285	2,842	1,403	1,489	4,836
10月	3,840	4,831	1,511	1,003	4,064
11月	6,513	22,965	686	1,159	5,603
12月	2,281	4,776	632	622	2,933
計	28,739	77,954	12,342	21,166	26,601

④ 市民アンケート調査及びDMO通信(Vol.3)への掲載

- ・ 名称:観光に関する満足度アンケート調査
- ・ 対象者:市内在住者,市内勤務・通学者
- ・ 実施期間:前期(令和7年5月～10月),後期(令和7年11月～令和8年3月)
- ・ 方法:Googleフォーム内にアンケートページを作成し,三次市観光及びDMOの取組に関する意見・評価を収集。また,抽選により賞品として,広島三次ワイナリー及びトレッタみよしの5,000円商品券(前期・後期合計20本)を贈呈。
- ・ 有効サンプル数:458件(総回答数497件。複数回答者を1回答のみ有効に調整後)
- ・ 回答内容(抜粋)

三次来訪歓迎度 82.3%,持続可能な観光まちづくりに関する満足度 15.9%

みよしDMO認知度 28.8%,みよしDMO取組に関する認知度 29.7%など

4. 観光資源開発部門

- 予算額 1,008 千円
- 収入済額: 1,011 千円, 支出済額: 875 千円(※収支差額: 136 千円)

《施策》

(1) 三次市内観光コンテンツの継続的な情報発信 【施策④】

① ウェブ制作(三次市内観光コンテンツの取材) (年間 5 か所～10 か所程度)

【実績】

(1) 三次市内観光コンテンツの継続的な情報発信

① ウェブ制作(コンテンツの取材)

- ・ 取材件数: 12 件
- ・ 取材場所: カヌー公園さくぎ(施設スタッフの変更による再取材), Cafe & Restaurant CANOE, Cafe Fun Fun Fun, はなうた食堂, 小島別邸, Cafe & s, トライアードコーヒー, 麺と飯 中華ママ周さん家, Rune Coffee Roasters, 染工房 奈つ, お好み焼 いまちゃん, ボタニカルカフェ

(2) 既存体験観光商品の磨き上げと販促支援, または, 新たな観光コンテンツの造成

- ① 従来造成した体験観光コンテンツの効果検証, 改善支援, 販促支援
- ② 新規体験観光の開発支援, または観光地域づくりプロジェクトの支援(三良坂町えんむすびのまちみらさか構想など) (1 件)
- ③ 巴峡 三次かわまちづくり(5 年)計画への参画 【施策①】
 - ・ ウォータースポーツなど実証実験運営支援(遊覧船, ラフティング, SUP, カヤック等)

【実績】

(2) 既存体験観光商品の磨き上げと販促支援, または, 新たな観光コンテンツの造成

① 既存体験観光コンテンツの効果検証等

- ・ 効果検証: 令和 7 年度は特になし
- ・ 改善支援: 令和 7 年度は特になし
- ・ 販促支援: 既存観光商品の令和 8 年度開催に向けて, チラシ, ポスターの制作

② 新規体験観光の開発支援または観光地域づくりプロジェクトの支援

- ・ 開発支援: 令和 7 年度は特になし
- ・ 観光地域づくりプロジェクトの支援

③ 巴峡「三次かわまちづくり計画」への参画

- ・ 令和 7 年 10 月 11 日 巴峡かわまちづくり着工式参加(2 人)

5. インバウンド推進(新設)

- 予算額: 6,983 千円
- 収入済額: 7,423 千円, 支出済額: 5,450 千円(※収支差額: 1,973 千円)

《基本的な方針》

第2次三次市観光戦略目標の中で, 新たな目標として設定された訪日外国人来訪者数, および訪日外国人宿泊者数の目標達成に向けて, 本年度は, インバウンド推進部門(チーム)を設立し,

最終年度である R10 のそれらの目標達成に向けて取り組みます。

第一ターゲット国は、従来から三次市来訪率の比較的高い台湾、第二ターゲットは、瀬戸内沿岸部、広島市内への来訪率の高い欧米豪とします。インバウンド専門会社やせとうち DMO と連携した三次への誘客、周遊促進を図ります。令和7年度は、市による JET プログラムの国際交流員(CIR)の招聘申請、外部専門人材の活用等を核とし、これら核となる業務の進捗に応じた各施策の立案・実施を行います。

《核となる施策》

- (1) インバウンド専門人材の派遣制度への申請（観光庁）及び関連費用
- (2) 市による CIR(Coordinator for International Relations = 国際交流員)の招聘による三次観光資源の情報発信強化
- (3) 【観光庁】せとうち DMO 広域周遊事業補助金「地方部での滞在促進のための地域周遊観光促進事業」申請中 → 中国地方最大の一級河川「江の川アドベンチャー&ガストロノミーツア—2025 and Beyond」【施策②】

【実績】

(1) インバウンド専門人材派遣

- ① 手法: インバウンドマーケティングに関するアドバイザー業務を専門家に委託

実施期間: 令和7年5月21日～令和8年3月13日

委託先: (株)Intheory(代表 村木智裕)

活動形態: 月1回程度に当機構を訪問するとともにオンラインミーティング及び現地確認等を実施

成果:

- ・インバウンド市場の動向および主要ターゲット層のニーズに関する知見を整理し、本市における誘客の方向性を明確化
- ・専門家の助言を踏まえ、ロケーションハンティング等を実施し、本市観光コンテンツの強みを再整理するとともに、課題の可視化を実施
- ・情報発信および販売手法の活用に関する方向性を検討し、今後の施策展開に向けた整理を実施
- ・令和8年度以降のインバウンド推進に向けたマイルストーンおよびロードマップを作成

(2) 市による CIR 招聘による三次観光資源の情報発信強化

- ① 内容: 当機構に勤務する市採用の CIR と連携し、業務を実施

成果:

- ・SNS(Instagram, TikTok)を中心とした情報発信(100回以上)を強化
- ・着地整備やインバウンド専門人材の連携を推進。市内観光事業者には翻訳支援や受入れに関する助言を行い、訪日旅行者にとって利用しやすい環境整備を実施
- ・ロケーション調査等を通じて三次のコンセプト及びブランドの再整理を進め、その魅力の効果的発信に努める。

《CIR 業務実績》

No.	業務内容	実施内容
1	英語圏の方を対象とした SNS 等を活用した情報発信	Explore.Miyoshi_japan ・Instagram 投稿数 55, TikTok 投稿数 54
2	他機関との連携	・三次中学校出前講座(8月6日) ・三次 ALT の交流(9月25日) ・英語と日本語の外国人のカスタマージャーニーインタビュー

		一質問(11月4日) ・道の駅ゆめランド布野看板英語翻訳(令和8年1月)
3	訪日外国人観光客向け観光プロダクト監修, 造成支援	・モニターツアー参加(8月4~5日, 9月2日) ・鶴飼バックヤードツアーガイドスクリプト英語翻訳(令和8年2月)
4	外国人用看板の設置	・三次駅前の観光案内所の看板(12月9日)
5	外国語刊行物等の翻訳校正	・通訳(車レンタルクーポン情報 9月8日) ・通訳校正(もののけミュージアム記事 8月22日) ・鶴飼遊覧船外国語パンフレット作成支援(令和8年2月17日) ・道の駅ゆめランド布野看板英訳(令和8年1月23日)
6	OTAサイト等への登録支援	・鶴飼の Klook と Viator の英語校正(9月24日)
7	DMOホームページの制作補助	・おすすめ観光コース(秋の一日 11月6日) ・おすすめ観光コース(冬の一日 令和8年2月24日)
8	関係機関での通訳業務	・商談会のプレゼンテーションと質問通訳(令和8年1月8日)
9	観光案内所等観光おもてなし拠点のサービス向上	・Google Maps お店や観光場所写真と情報投稿(定期 9月から) ・カスタマージャーニー: 三次市で見かけて, 外国人のインタビュー記録(随時 10月から)

(3) 観光庁事業補助金に係る業務

① 名称: 観光庁「せとうち DMO 連携インバウンド向け広域周遊ツアー造成」事業

事業名: 中国地方最大の一級河川「江の川アドベンチャー & ガストロノミーツアー2025 and Beyond」におけるモニターツアー企画等事業

実施期間: 令和7年4月1日～令和8年3月31日

内容: 観光庁の「訪日外国人旅行者周遊促進事業費補助金」を活用し, 本補助金の事業計画策定者「(一社)せとうち観光推進機構」と広域連携し, 訪日外国人旅行者向けに滞在コンテンツの充実を目的とした企画造成及び改善に取り組む。(事業費のうち, 一部は市補助金を活用)

成果: モニターツアーの実施: 令和7年9月2日(参加者: 旅行会社3人, 通訳ガイド1人)

造成商品: Miyoshi Adventure (Japan Adventurer のホームページに掲載)

販売サイト: <https://japanadventurer.com/tour/miyoshi-adventure-2/>

《その他の施策(案)》

- (1) みよし DMO 公式 多言語ホームページ制作 (英語・中国語)(CIR, 中国語臨時スタッフ連携)
- (2) 多言語 SNS 情報配信 (CIR, 中国語臨時スタッフ連携)
- (3) 関西 EXPO2025 Official Experiential Travel Guides への三次の観光商品登録 (英語)
- (4) 英語版・中国語版 三次観光冊子の制作(既存の三次市 Tourist Guide Map 素材の活用)
- (5) インバウンド誘客促進のための OTA 販路開発
- (6) インバウンド専門旅行会社への営業継続と新規アプローチ
- (7) 市内の国際交流団体, 在住外国人との意見交換と連携

【実績】

(1) 多言語公式ホームページ(英語・中国語)制作

インバウンド専門人材からの助言を踏まえ、本市のターゲットの見極めやブランドコンセプトの整理・構築を優先する必要があると判断し、次年度以降、計画的かつ中長期的にホームページ制作に取り組む方針とした。

(2) 多言語 SNS 情報発信

- ・英語 SNS (Instagram, TikTok) を中心とした情報発信(100 回以上)を強化。
- ・中国語による SNS 運用については実施を見送った。これは、日本政府観光局(JNTO)や広島県観光連盟等による既存の発信施策を活用する方が効果的であると整理したため。

(3) 関西 EXPO2025 への観光商品登録(英語)

「三次もののけミュージアム」に係る商品登録(入場券販売申請)
予約件数実績 3 人(目標 20 人)

(4) 外国語版(英語・中国語)の三次観光冊子の制作

インバウンド専門人材の助言を踏まえ、まずはターゲット設定とブランドコンセプトの整理・構築を優先する必要があると判断し、制作は見送り、次年度以降に改めて検討することとした。

(5) インバウンド誘客促進のための OTA 販路開発

《OTA 登録状況》

イベント	三次もののけミュージアム	三次の鵜飼 (弁当付き)	三次の鵜飼 (弁当付き, 1 泊宿泊プラン, ガイド付き)
OTA			
Klook	○	○	未
Viator	○	未	○
WAmazing Play	○	○	未

(6) インバウンド専門旅行会社への営業継続と新規アプローチ

なし

(7) 市内の国際交流団体、在住外国人との意見交換・連携

市内の国際交流グループと意見交換を行うとともに、CIR の Instagram アカウントを提供し、三次の魅力を再認識してもらう取組を行った。

6. その他補助事業

【国庫補助事業】(2 件)

①収入済額:309 千円 ②収入済額:440 千円

(※ ①は MPS 部門, ②はインバウンド推進部門に計上)

① 名称:観光振興事業費補助金(世界に誇る観光地を形成するための DMO 体制整備事業)

② 名称:訪日外国人旅行者周遊促進事業費補助金

【実績】

①内容:豊岡観光イノベーション視察研修

豊岡観光イノベーションの組織活動、ならびに観光まちづくりの取組・成果について研修を受けるとともに豊岡市内にある観光施設等の現地視察を行うことで先進的な地域の事例を学ぶ。視察内容として「豊岡観光イノベーション設立について」「豊岡観光 DX の取組み」「インバウンドの取組み」「宿泊施設等視察」「CIR(観光推進員)の活用」等について学ぶ。

② 内容:中国地方最大の一級河川「江の川アドベンチャー&ガストロミーツアー2025 and Beyond」

英語による下記項目の新たなコンテンツ造成

- ・ インバウンド(欧米豪)向け「江の川の鵜飼」体験コンテンツ(鵜匠の生活バックヤードツアー等)のコンテンツ造成
- ・ 「江の川ラフティング」、三次市～島根県境までのラフティングコースの造成、江の川フィッシング体験コンテンツの造成、江の川の幸を食する江の川ガストロノミー体験コンテンツの造成
- ・ 宿泊
- ・ ターゲット層:米・英・仏・独・豪の高付加価値旅行者, Experienced Traveler(ET)層(異文化好奇心を持つ旅慣れた知的旅行者)及び Special Interest Traveler(SIT)層(特定の関心・趣味を目的とする旅行者)

上記を組み合わせた2泊3日の江の川の中心都市「広島県三次市」でのインバウンド向け宿泊プログラムの造成

7. 補助金対象外業務

○予算額:14,762 千円(受託事業・自主事業)

○収入済額:18,710 千円, 支出済額:16,746 千円(※収支差額:1,964 千円)

【受託事業(部門横断的業務)】

○ 収入済額: 17,177 千円, 支出済額: 15,991 千円(※収支差額:1,186 千円)

1. 観光プロモーション業務(三次市からの受託事業)

(1) プロモーション業務

- ① 広告の掲載
- ② 営業活動業務
- ③ マツダスタジアム観光 PR
- ④ ウェスタン・リーグでの観光案内

(2) 事務局運営業務

- ① みよし田舎ツーリズム協議会事務局業務
- ② 三次市観光振興神楽協議会事務局業務

【実績】

(1) プロモーション業務

①-A(広告の掲載)

- ・ 新聞, 雑誌, テレビ, 屋外広告, 電子媒体等を活用した効果的な広告を実施。
- ・ 効果として, 来訪者増加(例. 食品サンプル展 約 16,200 人)。駆け込み来訪など広告再喚起効果あり。

(ア) テレビ番組制作: (株)中国放送「イマナマ!」「ランキン Land!」夏休み期間中特別企画展(世帯平均視聴率 7.0%, 個人平均視聴率 4.2%)夏休み前の放送タイミングが効果的であった。視聴者は 50~60 代が中心。

(イ) SNS 広告掲載: Meta 広告(Instagram, Facebook)を実施(①ウェスタン・リーグ, ②本市観光プロモーション)

- ・ 総費用: 約 167 万円
- ・ リーチ: 約 292 万人, クリック: 約 3.8 万回
- ・ CPC: 約 13 円(送客広告)で効率良好

・ Instagram フォロワー: 約 74% 増加 ・ 認知拡大型 (リーチ) と行動促進型広告を併用
(ウ) JAF 連携施策: JAF Mate 秋号への掲載 (中国地方 5 県の JAF 会員へ約 81 万部配付) ・ ドライブ層への訴求に効果的 ・ スタンプラリー実施: 安田女子大学との産学官連携 (参加 205 人, クリア 105 人) ・ メルマガ配信, プレゼント企画も実施
(エ) インバウンド施策 ・ 一畑トラベルサービスと連携し, 台湾旅行会社向け FAM ツアー実施 (4 市町連携) ・ 商談会, 営業活動を実施。2025 台北国際旅行博 (ITF) への出展を実施 ・ 台湾市場との関係構築, 商品造成に進展 ・ 体験型観光 (農園・染物等) が高評価を得た
②-B (営業活動業務)
(ア) 国内 ・ 旅行会社への営業を 5 回実施 (最大支援制度あり) ・ 四国・山陰・九州方面を中心に展開 ・ 実績: ツアー造成・催行につながる成果あり ・ 宿泊型観光の重要性が課題として浮上
(イ) マツダスタジアム観光 PR「三次デー」 ・ 来場者向け PR (うちわ 5,000 本, 観光パンフ 2,000 セット配布) ・ 観光案内所を設置し, 「三次もののけ探索 AR」導入促進キャンペーン実施 (143 人インストール)
(ウ) ウェスタン・リーグでの観光案内 ・ 観光案内所を設置し, うちわ配布 (2,000 本) ・ 「三次まち歩きアプリ」導入促進キャンペーン実施 (15 人インストール)
(2) 事務局運営業務
① みよし田舎ツーリズム協議会事務局 ・ グリーンツーリズム損害保険対応, 意見交換会実施
② 三次市観光振興神楽協議会事務局業務 ・ 第 5 回共演大会実施: 来場 463 人
< 今後の課題 >
① 高年齢層偏重の是正
② 駐車場・アクセスの改善
③ 宿泊施設の魅力強化

2. 観光案内・観光情報提供業務 (三次市からの受託事業)

(1) 観光案内業務

- ① 観光案内所の運営
- ② 観光客等の問合せへの対応

(2) 観光情報提供業務

- ① 桜情報・紅葉情報の問合せへの対応
- ② 各種団体からの問合せへの対応
- ③ 全国観るナビサイトの修正更新
- ④ ひろしま公式観光サイト「Dive! Hiroshima」等の修正更新
- ⑤ マスコミの取材やツアー造成の下見への対応

【実績】

(1) 観光案内業務

- ① 三次駅前観光案内所及び交流館観光案内所を開設。来訪者数及び問合せ件数:11 頁を参照
観光案内所(三次駅前)の情報発信コーナーで観光チラシ配架(215 回), ポスター掲示(75 回)を実施。
- ② 観光客等からの問合せへの対応:対面, 電話, メール及び Web からの送付依頼に対応(87 件)
観光情報問合せへの対応:電話, メール, 観光公式サイトへの問合せに対応(3,499 件)
季節の地域資源等(花, 鳥, イベント等)の調査を実施。

(2) 観光情報提供業務

- ① 桜情報・紅葉情報問合せへの対応
 - ・ DMO ホームページで尾関山・三和の桜開花情報を発信(9 回)
 - ・ 当機構 Web サイトへ開花情報を掲載し, 更新(8 回)
 - ・ 電話対応で状況報告(2 回)
 - ・ 外部依頼による Web(14 件), 紙面(4 件)提供
 - ・ 情報収集業務:尾関山公園及び常清滝の情報を Web 等で提供(53 回), 全 90 件対応
- ② 各種団体からの問合せ対応
 - ・ リーぶら紙媒体(広島広域都市圏発行機関紙)原稿(5 回)提供
 - ・ Instagram(8 回)に情報提供・掲載。
- ③ 全国観るナビサイトの修正更新:9 回実施
- ④ ひろしま公式観光サイト「Dive! Hiroshima」等の修正更新:12 回実施
県観光連盟が行う PDB(プロダクトデータベース)の登録・更新:5 回実施
- ⑤ マスコミの取材やツアー造成の下見への対応:1 回実施(読売テレビ)

3. 三次もののけ探索 AR アプリ活用キャンペーン支援業務(三次市からの受託業務)

(1) PR 活動

- ①HP の作成
- ②チラシデータの作成・提供
- ③SNS での発信

(2) キャンペーン景品の準備, 抽選, 発送

- ①キャンペーン景品の準備, 抽選, 発送

【実績】

- ・ 令和 7 年度ダウンロード件数 941 件(昨年度 925 件)
- ・ 賞品応募口数 223 件(昨年度 223 件)
- ・ 応募者数 106 人(昨年度 111 人)

(1) PR 活動

- ① DMO の HP に LP を作成し, キャンペーン情報を発信
- ② 三次市内の観光施設等に配架するチラシのデータを作成及び提供
- ③ DMO が管理する SNS アカウント(Instagram, Facebook, X)にて, 「みよしもののけ探索 AR」のキャンペーン情報を発信(投稿数 14 件)

(2) キャンペーン物品の準備, 抽選, 発送

- ① キャンペーン応募者の抽選を行い, 当選者に賞品を発送。
 - ・ 特賞「Nintendo Switch 有機 EL」と「マリオカート 8 デラックス」のセット(2 名),
 - ・ 通常賞「霧の里菓(風季舎)」(15 名)

4. 三次市シティプロモーション業務(楽天モバイルパーク)(三次市からの受託業務)

(1) イベント運営の実施

- ①ガラポン抽選
- ②三次市の観光パンフレット配布
- ③イーグルスステージへの対応

(2) 三次市 PR のための装飾品デザイン・製作及び貸出品の活用

- ①装飾品デザイン・製作
- ②貸出備品

(3) 球団及び関係者への贈呈用の特産品の準備

(4) 商品販売について(その他独自事業)

【実績】

(1) イベント運営の実施

- ① ガラポン抽選会を実施。三次市の特産品を賞品とし、観光ならびに特産品の PR を実施。(921 個の賞品を贈呈)
- ② ガラポン抽選会参加者の先着 300 名に配布。
- ③ 三次観光アンバサダーセレモニースタッフを派遣、三次市長とともにイーグルスステージに登壇し、三次市の観光 PR を実施。

(2) 三次市 PR のための装飾品デザイン・製作及び貸出備品の活用

- ① イベント実施にあたり、両面看板や POP(観光ブース誘導表示、販売商品表示等)等を製作。
- ② 株式会社楽天や球団からガラポン 2 台借用し、ガラポン抽選会を実施。

(3) 球団及び関係者への贈呈用の特産品の準備

- ・ 東北楽天ゴールデンイーグルス宗山選手の三次市観光大使就任に際し、贈呈品として「みらさかピオーネ」10 箱を贈呈。

(4) 商品販売について(その他独自事業)

- ・ 「みよしブランド認定品」である株式会社広島三次ワイナリーのワインを販売。

5. その他団体からの受託事業

(1) 三次鵜飼伝統文化振興会事務局業務

【実績】

- ・ 学校授業 4 校、模擬実演 4 回、鵜飼体験活動事業にて実演 4 回
- ・ 鵜飼養祭・鵜慣らし祭、鵜飼川開き、鵜飼仕舞い
- ・ 鵜舟造船(1艘)に係る進捗管理・見学者調整・浸水検査立会い

(2) 三次市プロ野球公式戦開催実行委員会

【実績】

- ・ 2025 年チケットの継続販売 198 組、払戻し 25 組
- ・ 2026 年チケットの販売 279 組

(3) みよし市民花火まつり実行委員会事務局

【実績】

- ・ イベント名:みよし市民花火まつり 2025
テーマ:尾関山公園開園 100 周年 Miyoshi Fresh !!! ～みんなで進む 軌跡～
開催日時:2025 年 9 月 27 日(土)19:00-20:20。開催場所:三次町寺戸河川敷・堤防敷
打上発数:約 5,000 発

・ みよし DMO のテストマーケティング施策

市内宿泊施設への宿泊プラン造成実績: 君田温泉(15 名), 長岡旅館(5 名), 三次グランドホテル(2 名)

【自主事業】

○ 収入済額: 1,533 千円, 支出済額: 755 千円(※収支差額: 778 千円)

コインロッカー, レンタサイクル, 書籍販売に加え, きりこちゃんグッズ第2弾エコバッグ等の販売, またグッズの委託販売と通信販売促進で売り上げアップ

《施策》

- (1) レンタサイクル事業: 保有台数: 電動アシスト自転車 4 台, 普通自転車 2 台, 合計 6 台
- (2) コインロッカー事業(手荷物預り含む)
- (3) 物販事業: 新たに, きりこちゃんエコバッグ商品開発等で売上アップを目指す。
- (4) みよし市民花火まつり貸切遊覧船
- (5) 自主事業の促進(売上目標 1,310 千円)

【実績】

総売上額: 1,522,650 円(対目標額: 116.2%)

(1) レンタサイクル事業 (※売上合計 215,600 円)

	4 月～9 月	10 月～3 月	合計
貸出件数(件)	177	133	310
収入(円)	122,200	93,400	215,600

(2) コインロッカー事業 (※売上合計 182,700 円, 531 件)

(単位: 円)

	4 月～9 月	10 月～3 月	合計
コインロッカー収入	87,000	92,700	179,700
手荷物預り収入	0	3000	3,000
合計	87,000	95,700	182,700

(3) 物販事業 (※売上合計 624,350 円)

(単位: 円)

	4 月～9 月	10 月～3 月	合計
きりこちゃん関係 (ぬいぐるみ, エコバッグ, セット)	228,410	286,830	515,240 (対合計収入: 82.5%)
その他	74,350	34,760	109,110
合計	302,760	321,590	624,350

(4) みよし市民花火まつり貸切遊覧船事業

① 実施日: 令和 7 年 9 月 27 日

② 遊覧船売上: 4 艘, 500,000 円(オーナー2 艘, その他貸切 2 艘)

【その他】

(1) 中学生鵜飼乗船体験

市内中学生が社会に出る前にふるさと納税を活用し、「三次の鵜飼」の学習及び乗船体験をする。(乗船見込数 450 人, 7月・8月の火曜日 9 日間)

【実績】

(1) 実施日: 予定 9 日間のうち, 4 日間(7/15, 7/22, 7/29, 8/19)

対象者数: 1,288 人(市内 13 中学校)

参加者: 計 42 人(中学生 30 人, 保護者 9 人, 引率者 3 人)

内容: 鵜匠による三次の鵜飼の概要説明, 船頭による役割等説明, 乗船体験, アンケート調査(回答数 26 件)